

日本ミュージアム・マネジメント学会 第29回大会開催のご案内

◆テーマ:ミュージアムのこれまで、いま、これから—JMMA が歩んだ 30 年。我々は何を果たしてきたか

◆日程:2024年6月1日(土)~6月2日(日)

◆会場:新潟県立歴史博物館(新潟県長岡市関原町 1-2247-2) ※オンライン併用

◆主催:日本ミュージアム・マネジメント学会 共催:新潟県立歴史博物館

◆プログラム(予定)

【第1日目】 6月1日(土)

13:00~13:50 総会 ①2023年度事業報告、②2023年度決算、③2024年度事業計画、④2024年度予算案、
⑤役員改選、学会賞授賞式など

13:50~14:00 開会式 会長挨拶:水嶋英治(JMMA 会長、長崎歴史文化博物館館長)
会場館長挨拶・来賓挨拶ほか

14:00~14:50 特別講演「ミュージアムは社会に何をもたらしたのか、社会はミュージアムに何を期待してきたのか」
水嶋英治(JMMA会長、長崎歴史文化博物館)

15:00~17:00 シンポジウム「ミュージアムは社会に何をもたらしたのか、社会はミュージアムに何を期待してきたのか—地域とのかかわりを軸に」
パネリスト: 江水 是仁(JMMA理事、東海大学資格教育センター)

小熊博史氏(長岡市立科学博物館)

田邊 幹氏(新潟県立歴史博物館)

中尾智行氏(文化庁)

※五十音順

コーディネーター:原田雅子(八洲学園大学)

18:30~20:00 情報交換会「隠れ家個室居酒屋 季の庭—TOKINONIWA—長岡駅前店」

【第2日目】 6月2日(日)

10:00~11:40 会員研究発表(午前の部6組) 15分発表 5分質疑応答

| | | | |
|---|-------------|---|---|
| 1 | 10:00~10:20 | 野外ミュージアムの特質を考慮したデータ分析支援ツールについて | 阿部昭博・永井和哉(岩手県立大学) |
| 2 | 10:20~10:40 | ミュージアムを拠点に ESD を推進する人材養成プログラムの開発 | 松本朱実(社会構想大学院大学・一般社団法人ミュージアム ESD コミュニティ) |
| 3 | 10:40~11:00 | 自然誌博物館(Natural History Museum and Institute)のこれまで、いま、これから | 新和宏(Interactive Museum and Institute Center Director) |
| 4 | 11:00~11:20 | 地域や組織を横断した資料データ共有の仕組みの実現を目指して | 佐藤琴・小幡圭祐(山形大学附属博物館)、 堀井洋・小川歩美(合同会社 AMANE)、 高田良宏(金沢大学学術メディア創成センター)、 榎本千賀子(新潟大学人文学部)、 櫻澤孝佑(奥会津振興センター)、 卓彦伶(北海道大学大学院 文学研究院) |
| 5 | 11:20~11:40 | SSH 指定校との連携でこれからの社会に必要なサイエンスコミュニケーション力を育てる | 板垣早織(福岡市科学館) |

11:40~12:00 ポスターセッションインデックスプレゼンテーション

12:00~13:00 休憩

13:00~13:40 ポスターセッション(3組)

| | | |
|---|---------------------------------------|-------------------------------------|
| ① | 博物館・美術館に対する ADHD 者の意識や体験に関する予備的調査 | 吉田周平(九州大学大学院統合新領域学府 ユーザー感性スタディーズ専攻) |
| ② | 科学館がリードする新たな宇宙教育の現場 | 小林 翔(佐賀県立宇宙科学館 宇宙教育プロジェクト) |
| ③ | 「境界オブジェクト」概念を援用した「資料」の価値を広げる「境界領域」の創成 | 並木美砂子(帝京科学大学) |

13:50~14:50 会員研究発表(午後の部5組) 15分発表 5分質疑応答

| | | | |
|---|-------------|--|------------------------|
| 6 | 13:50~14:10 | 練馬区立牧野記念庭園におけるボランティア活動 | 草刈清人 牧野由美子(練馬区立牧野記念庭園) |
| 7 | 14:10~14:30 | ミュージアム来館者が地域社会に与える影響 2024—ミュージアム来館者の来館前後の行動から— | 江水是仁(東海大学資格教育センター) |
| 8 | 14:30~14:50 | 京都国立博物館の挑戦 | 栗原祐司(国立科学博物館) |

15:00~15:10 閉会式

※主催者および発表者の都合により内容を変更することがありますのでご了承ください

◆大会参加費(対面・オンラインともに)

会員:3,000円<早割2,000円>(学生1,000円) / 非会員:5,000円<早割3,000円>(学生1,000円)
※学生料金は早割適用外です
※早割は5月15日(水)までにお振込みいただいた方が対象です

◆情報交換会費:5,000円

◆長岡駅⇄新潟県立歴史博物館 貸し切りバス利用 500円/回

長岡駅から新潟県立歴史博物館の貸し切りバスを利用される方は申込書にてお申込みください。

6/1(土) 17時30分 新潟県立歴史博物館発
6/2(日) 9時15分 長岡駅発

※各回の定員は45名です。希望者が多い場合は、お申込み先着順とさせていただきます。
※またバス利用者が少ない場合は、バスをキャンセルする場合がございますのでご了承ください。
※公共交通機関

JR長岡駅大手口7番線(長岡駅前=希望が丘=長峰団地=技大=ニュータウン・歴史博物館線)発から
越後交通バスで約40分、博物館前下車。運賃460円

| 長岡駅発、新潟県立歴史博物館行 時刻表 (令和5年4月1日改正) | | 新潟県立歴史博物館発、長岡駅行 時刻表 (令和5年4月1日改正) | |
|-------------------------------------|-----------|-------------------------------------|--------|
| 長岡駅前 発 | 県立歴史博物館 着 | 県立歴史博物館 発 | 長岡駅前 着 |
| 10:05 | 10:43 | 10:54 | 11:32 |
| 11:05 | 11:43 | 11:54 | 12:32 |
| 13:05 | 13:43 | 13:54 | 14:32 |
| 15:05 | 15:46 | 15:54 | 16:35 |
| 16:05 | 16:44 | 16:52 | 17:33 |

◆参加お申込み:別紙の参加申込書を大会実行委員会までメールまたはファックスにてお送りください。
お申込み期限:2024年5月28日(火) 参加費振込締切:2024年5月29日(水)

◆その他

・大会参加者は新潟県立歴史博物館の常設展示を無料で観覧いただけます。
期間:2024年5月31日(金)~2024年6月2日(日)
大会参加者に限りするため、事前にお申込みがない方は(無料で)観覧いただけませんのでご注意ください。

・現在、長岡市内のホテルは予約が困難、または非常に高額な状況となりつつあります。燕三条駅(長岡駅から新幹線で一駅、片道1,300円)周辺のホテルのご利用もご検討ください(長岡市内よりは格安が多いようです)。
6月2日(日)の貸し切りバス利用の場合は以下のとおりとなります。

- ①新幹線・燕三条 8:45→長岡 8:54→9:15 バス出発
- ②高速バス・三条燕 IC 9:03→長岡 IC 9:25→9:30 貸し切りバス到着、乗車(予定)
高速バス三条燕停留所は燕三条駅から歩いて10分ちよっと(800mほど)と至近にあります。
申し込みがあった場合のみ長岡 IC で停車いたしますので、長岡 IC からのバス利用の旨申し込みの際に記載をお願いします。ただし利用料金(500円)は変わりませんのでご了承ください。

・大会当日は博物館のレストランは営業予定となっています。また、コンビニ等の店舗は博物館からやや離れておりますので、あらかじめ準備していただき会場にお越しください。会場隣の研修室でも昼食を召し上がっていただけます(ポスターセッション会場として使用する都合上、12:40まで)。

開催趣旨

独立行政法人制度、指定管理者制度の導入さらに博物館法や ICOM のミュージアムの定義の改定などにみられるように、ミュージアムと社会の関係、ミュージアムの経営のありかたが激変した 30 年を振り返る。また、インバウンドの飛躍的な増加を背景に、人々の学びの支援のみならず、まちづくりや地域活性化、観光資源の掘り起こしなどの役割もミュージアムに求められている中で、今後、ミュージアムはどのように社会に貢献をすべきか、ミュージアムマネジメントのあるべき方向性を議論していく。
2024 年度の大会では、30 年の間に、地域の課題や現代的課題に対応するために様々な実践が展開されているミュージアムの現場、ミュージアムを支える地方行政、ミュージアム行政の立場からどこまで対応できているのか、課題は何かを明らかにし、今後のミュージアムマネジメントに求められる有意義な知見を参加者とともに作っていきたい。

